

2018「猿留山道を歩く会」兼第27回全道フットパスの集い

開催要項

北海道150年・明治150年協賛事業

1. 開催主旨：

猿留山道（さるる・さんどう）、江戸時代・寛政十一年（1799）に開削された蝦夷地（北海道）最初の官製道路の一つ。全国を歩いた伊能忠敬が測量し、北海道の名付け親といわれる松浦武四郎が探査した山道で、数多くの紀行文や絵図に当時の様子が残されています。

北海道新聞社主催「ほっかいどうの道100選」に選出され、2018年（平成30年）2月に、**国史跡に指定**されました。

2002年から10年間継続された猿留山道復元ボランティア事業により、残存する山道部分が歩行できるようになり、歴史と日高南部の自然環境を学ぶ場として活用が期待されています。

今年は、国史跡指定を記念し、第27回全道フットパスの集いを兼ねて開催します。

2. 主催：えりも町教育委員会・猿留山道を歩く会実行委員会

猿留山道を歩く会実行委員会構成団体（えりも町教育委員会、えりも町郷土資料館N42°の会）

3. 共催：（公財）北海道新聞野生生物基金、フットパス・ネットワーク北海道（FNH）

4. 後援予定：えりも町・えりも町商工会・えりも観光協会・えりも建設協会 北海道日高振興局・北海道教育庁日高教育局・日高南部森林管理署・ ひだか南森林組合・日高報知新聞社・北海道新聞浦河支局（順不同）

5. 協力：エコ・ネットワーク、株式会社ジオ

6. 開催日：平成30年6月23日（土）～24日（日）

7. 日程（当日の時間は多少前後することがあります。）

6月23日（土）

11時 受付開始（えりも町福祉センター）

12時 開会式、出発（バス送迎）

フットパス歩き：襟裳岬草原～牧草地と水平線&初夏の花々

15時 フォーラム（えりも町福祉センター）

「国史跡 ～ 猿留山道の魅力」（仮）

講師：古街道研究家 宮田太郎氏 ほか

18時 えりもの故郷の味（試食、交流会）

20時 終了



猿留山道。



ハートの豊似湖、沼見峠からの眺め。



猿留山道沼見峠にある江戸時代の妙見神と馬頭観世音菩薩。

6月24日（日）

Aコース

猿留山道チャレンジ！（約15km）

8時 受付開始（えりも町福祉センター）

*バス移動

15時～15時30分 解散予定

Aコースの概要

約15km。＜定員50名＞

山岳コース、軽登山の装備が必要。

江戸時代の雰囲気を楽しめる。

途中、トイレ、短縮路等なし。

（途中リタイヤできません）

Bコース

えりもの絶景！猿留山道跡～大観望～

百人浜～襟裳岬コース（約10km）

8時30分 受付開始

（えりも町福祉センター）

*バス移動

15時～15時30分 解散予定

Bコースの概要

約10km。＜定員50名＞

えりもの絶景！

猿留山道跡から大観望へ、ここはスコット

ランド！丘陵地帯から百人浜・襟裳岬を

目指す展望コース。ロケーション抜群。

途中バス移動あり。

百人浜の緑化事業、襟裳岬を訪れます。

*案内なく、天候等諸条件により、
歩くコースを変更することがあります。

7. 参加対象者：各コースの距離を歩く体力・脚力のある方。

8. 参加費

23日（土）フットパス歩き 500円

24日（日）Aコース：2,000円（昼食弁当付）

Bコース：2,000円（昼食弁当付）

23日（土）交流会 4,000円

6月9日以降キャンセルの場合は、キャンセル料が発生します。

（24日A・Bコース1,000円、交流会4,000円）

9. お問い合わせ・参加申し込み先

申し込み期間：平成30年4月13日（金）～6月8日（金）先着順

えりも町郷土資料館 TEL：01466-2-2410（火曜日、祝日の翌日は休館日）

FAX：01466-4-7966 <まずは、お電話ください。>

札幌発着のバスツアーについては

エコ・ネットワーク、株式会社ジオ TEL：011-731-7841（土日・祝日は休み）

FAX：011-737-9606 E-mail：eco@hokkai.or.jp

10. 持ち物：*23日昼食、飲み物等は各自ご用意ください。

白色系統の帽子（ハチ・ダニ対策）、長袖シャツ、軍手、ザック、水筒、

軽登山靴（はきなれた底の硬い靴）、厚手の靴下、お菓子類（非常食）、

防寒服、カッパなどの雨具、マダニよけ成分の入った防虫スプレー

など、各自ご準備ください。

◆ スズメバチ対策として、香水などは禁止します。

◆ 風が強いと体温が低下しますので、防寒服などを必ずご用意ください。

◆ 宿泊については、H30年4月18日現在調整中です。

申し込み時にご確認ください。